

政務活動費成果届出書

届出者 鈴木 好美

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田病院の経営形態と役割について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今年度半田病院は、経営形態の検討目標を「他の独立行政法人や全適化病院への視察を通して、さらなる情報収集に努め、経営形態の見直しによるメリット・デメリットを検証する。また、新病院計画の見直しや経営状況の変化も踏まえたうえで、継続して最適な経営形態及び移行時期を検討する。」としている。そして平成32年度には移行時期を決定するとしている。議会としても半田病院の経営形態の方向性と役割そして移行時期などを調査しておく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

達成できた。
経営形態は企業法一部適用・企業法全部適用・地方独立行政法人・指定管理者制度・民間譲渡の中では地方独立行政法人への移行が適していると感じた。

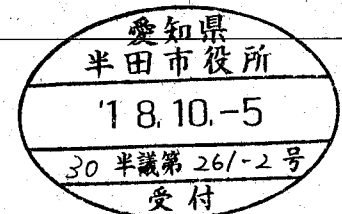
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

経営形態を変えれば経営の効率化が図れ、一部適用・全部適用より地方独立行政法人へ移行することが適していると考えます。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

医療関係者、学識経験者、公認会計士、公募市民などで経営評価委員会で更なるメリット、デメリットの検討が必要と考えます。

	議長	管理委員長
確認欄		



平成 30年 10月 2日

領収書等貼付用紙

議員名 鈴木 好美

タイトル

半田病院の経営形態と役割について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

- ① 研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。
- ② 研修費 25,000円を7人で按分
- ③ 代表 鈴木好美 3,574円
- ④ 他6名 澤田勝・嶋崎昌弘・榊原伸行・中村宗雄・小栗佳仁・中川健一 3,571円

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月6日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年7月6日

半田市議会議員

代表 鈴木好美 他 6名 様

和田 頼 知



平成30年7月10日

政務活動費成果届出書

届出者 中川健一

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研**修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田病院の経営と役割について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今年度半田病院は、経営形態の検討目標を「他の独立行政法人や全適化病院への視察を通じて、さらなる情報収集に努め、経営形態の見直しによるメリット・デメリットを検証する。また、新病院計画の見直しや経営状況の変化も踏まえたうえで、継続して最適な経営形態及び移行時期を検討する。」としている。そして平成32年度には移行時期を決定するとしている。議会としても半田病院の経営形態の方向性と役割そして移行時期などを調査しておく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。講師は独立行政法人へ移行するのが当然であるという見解であった。また公営企業法の一部適用と全部適用は市長と病院長の関係が良くないとすれば、どちらもあまり変わらない、という見解であった。さらに公営企業法の一部適用に関する現状のメリットについて尋ねると、特にメリットもない、という見解であった。

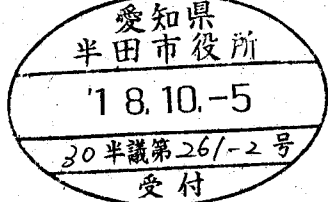
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

少なくとも、独立行政法人化すべきである。今後は、民営化をした方がよいか、指定管理を導入した方がよいか、という選択肢の検討になる。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

「半田市立半田病院改革プラン点検評価調書平成23年度評価及び総合評価」においてすでに独立行政法人化は、「病院発展のためには必要な見直しである」と半田病院経営評価委員会は結論付けている。今更、地方独立行政法人化するかどうかを議論するような問題ではない。どのように進めるかの議論の段階である。

確認欄	議長	管理委員長



平成 30年 10月 2日

領収書等貼付用紙

議員名 中川 健一

タイトル

半田病院の経営形態と役割について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

- ① 研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。
- ② 研修費 25,000円を7人で按分
- ③ 代表 鈴木好美 3,574円
- ④ 他6名 澤田勝・嶋崎昌弘・榊原伸行・中村宗雄・小栗佳仁・中川健一 3,571円

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月6日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年7月6日

半田市議会議員
代表 鈴木好美 他 6名 様

和 田 頼 知



※原本は鈴木好美議員に添付

政務活動費成果届出書

届出者 小栗 佳仁

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田病院の経営形態と役割について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今年度半田病院は、経営形態の検討を「他の独立行政法人や全適化病院への視察を通して、さらなる情報収集に努め、経営形態の見直しによるメリット・デメリットを検証する。また、新病院計画の見直しや経営状況の変化も踏まえたうえで、維持して適正な経営形態及び移行時期を検討する」としている。そして平成32年度には移行時期を決定するとしている。議会としても半田病院の経営形態の方向性と役割そして移行時期などを調査しておく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

公立病院の課題と今後の経営について、概ね達成した。

- ・病床機能の転換による整理の必要性。
 - ・国の補助金の確保は、病院再編が経営に有利。
 - ・地域特性を踏まえ検討(複数の病院を統合、機能単位で集約し専門性を高める)
 - ・新病院の目的を明確にして、実現に向けた経営形態を決める。
- 経営形態以前の課題として、常滑病院との関係を形成することが重要。

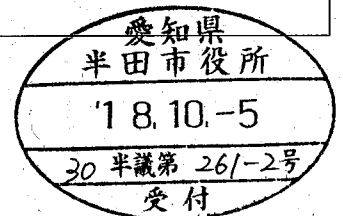
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

常滑病院との協議を進める上で、名大病院を入れて病床機能の転換や経営形態も同時並行で進める必要があるのではないのでしょうか。

また、新病院病院の建設場所を考えると一般財源の負担は大幅に増えるものと考えますので、新病院の経営改善により繰り出し金を増やすことが無い経営の転換が必要だと考えます。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



平成 30年 10月 2日

領収書等貼付用紙

議員名 小栗 佳仁

タイトル

半田病院の経営形態と役割について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

- ① 研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。
- ② 研修費 25,000 円を7人で按分
- ③ 代表 鈴木好美 3,574 円
- ④ 他6名 澤田勝・嶋崎昌弘・榊原伸行・中村宗雄・小栗佳仁・中川健一 3,571 円

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月6日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年7月6日

半田市議会議員

代表 鈴木好美 他 6名 様

和 田 頼 知



政務活動費成果届出書

届出者 澤田勝

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田病院の経営形態と役割について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今年度半田病院は、経営形態の検討目標を「他の独立行政法人や全適化病院への視察を通して、さらなる情報収集に努め、経営形態の見直しによるメリット・デメリットを検証する。また、新病院計画の見直しや経営状況の変化も踏まえたうえで、継続して最適な経営形態及び移行時期を検討する。」としている。そして平成32年度には移行時期を決定するとしている。議会としても半田病院の経営形態の方向性と役割そして移行時期などを調査しておく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目標は達成できた。

今後、日本は高齢化が進み働き手も減少し、公立病院の経営はますます厳しい環境。国からは公立病院の経営改革と地域医療構想の実現が求められている。今後、病院の再編や統合も視野に入れ、地域の実情を考慮し総合的に検討することが必要であることがわかった。また、公立病院再編等を行い、先進的な経営を行った病院情報をいただいた。

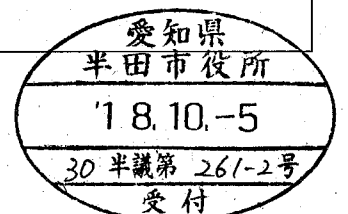
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

常滑市民病院との体制協議を進める中、半田病院と再編を進め、国の40%補助を受けるところが必要である。知多半島医療圏での半田病院の役割を再確認しビジョンを明確にし経営形態を示すべきと考える。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

地方独立行政法人化が目的ではなく手段であり、半田病院が効率よく安定的な経営を持続し地域医療の役割を担うことが目的であることを念頭に置くこと。

確認欄	議長	管理委員長



平成 30年 10月 2日

領収書等貼付用紙

議員名 澤田 勝

タイトル

半田病院の経営形態と役割について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

- ① 研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。
- ② 研修費 25,000 円を7人で按分
- ③ 代表 鈴木好美 3,574 円
- ④ 他6名 澤田勝・嶋崎昌弘・榊原伸行・中村宗雄・小栗佳仁・中川健一 3,571 円

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月6日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年7月6日

半田市議会議員

代表 鈴木好美 他 6名 様

和 田 頼 知



※原本は鈴木好美議員に添付

平成 30年 7月 12日

政務活動費成果届出書

届出者 中村宗雄

○使途項目 (○をつける) 調査研究 **研修** 広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田病院の経営形態と役割について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今年度半田病院は、経営形態の検討目標を「他の独立行政法人や全適化病院への視察を通して、さらなる情報収集に努め、経営形態の見直しによるメリット・デメリットを検証する。また、新病院計画の見直しや経営状況の変化を踏まえたうえで、継続して最適な経営形態及び移行時期を検討する。」としている。そして平成32年には移行時期を決定するとしている。議会としても半田病院の経営形態の方向性とその役割そして移行時期などを調査しておく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目標は達成できた。
半田病院改革プランなどで、独立行政法人等への経営形態の変更にとっても慎重であった半田病院に対し、有限責任監査法人トーマツの公立病院改革の4つの視点(地域医療構想を踏まえた役割の明確化、経理の効率化、再編ネットワーク化、経営形態の見直し)にたった、公立病院のこれから進むべき方向性と役割、そして選択できる道がとても良く理解できた。

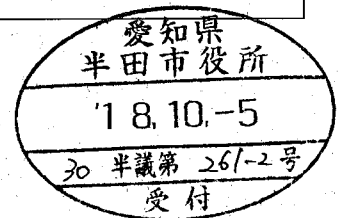
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ①新病院建設の際は、「新病院の再編」として国の40%補助を受けれる体制づくり(常滑病院との再編、統合等の協議)を行うべきである。
- ②知多半島医療圏の将来的な病床(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)のそれぞれの数の変化と新病院建設における病床の整備とに乖離がある。「やりたい事」と「将来的にやらなければならない事」の整理を行うべきである。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

独立行政法人等への経営形態の見直しは必須だが、経営形態を見直せばすべての問題が解決するわけではない。民間企業では株式会社等の一様な経営形態で行っているが、その業績等の企業の浮沈は、そのほとんどがトップである経営者のマネジメント能力によって左右されている。「どんな経営形態にするか」も大切だが、「誰に病院経営を委ねるか」という問題にも早急に取り組んでいく必要があると考える。

確認欄	議長	管理委員長



平成 30年 10月 2日

領収書等貼付用紙

議員名 中村 宗雄

タイトル

半田病院の経営形態と役割について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

- ① 研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。
- ② 研修費 25,000円を7人で按分
- ③ 代表 鈴木好美 3,574円
- ④ 他6名 澤田勝・嶋崎昌弘・榊原伸行・中村宗雄・小栗佳仁・中川健一 3,571円

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月6日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年7月6日

半田市議会議員

代表 鈴木好美 他 6名 様

和 田 頼 知



※原本は鈴木好美議員に添付

政務活動費成果届出書

届出者 嶋崎 昌弘

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田病院の経営形態と役割について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今年度半田病院は、経営形態の検討目標を「他の独立行政法人や全適化病院への視察を通して、さらなる情報収集に努め、経営形態の見直しによるメリット・デメリットを検証する。また、新病院計画の見直しや経営状況の変化も踏まえたうえで、継続して最適な経営形態及び移行時期を検討する。」としている。そして平成32年度には移行時期を決定するとしている。議会としても半田病院の経営形態の方向性と役割をそして移行時期などを調査しておく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

・出来た。

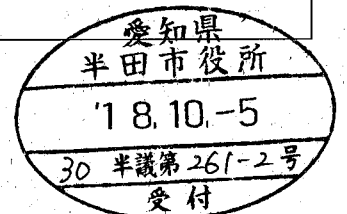
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

・一般地方独立行政法人化にすべきと考える。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

・経営形態を考える中で今年度に行われる、常滑市・半田市医療提供等体制協議会が初段階の会議であり重要な第一歩であると考え。
・常滑市民病院は「一般地方独立行政法人化の検討」半田市民病院は「最適な経営形態を研究・検討」

確認欄	議長	管理委員長



平成 30年 10月 2日

領収書等貼付用紙

議員名 嶋崎 昌弘

タイトル

半田病院の経営形態と役割について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

- ① 研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。
- ② 研修費 25,000円を7人で按分
- ③ 代表 鈴木好美 3,574円
- ④ 他6名 澤田勝・嶋崎昌弘・榊原伸行・中村宗雄・小栗佳仁・中川健一 3,571円

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月6日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年7月6日

半田市議会議員

代表 鈴木好美 他 6名 様

和田 頼 知



平成30年7月17日

政務活動費成果届出書

届出者 榊原 伸行

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研○修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田病院の経営形態と役割について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今年度半田病院は、経営形態の検討目標を「他の独立行政法人や全適化病院への視察を通して、さらなる情報収集に努め、経営形態の見直しによるメリット・デメリットを検証する。また、新病院計画の見直しや経営状況の変化も踏まえたうえで、継続して最適な経営形態及び移行時期を検討する。」としている。そして平成32年度には移行時期を決定するとしている。議会としても半田病院の経営形態の方向性と役割そして移行時期などを調査しておく必要があると考える。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

○目標は、達成できた。

①知多半島医療圏は、急性期が過剰であり高度急性期、回復期、慢性期が不足しており病床機能の転換による整理が必要。

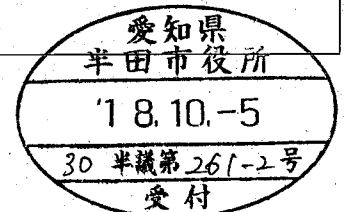
②新公立病院改革プランを半田病院は、高度急性期を中心とした急性期医療を担い回復期以降は、地域の医療機関との再編・ネットワーク化を具体的に構築し連携機能を充実する。常滑病院は、急性期医療から回復期医療まで取り組むケアミックス型の病院を目指す。両病院の役割の違いが、理解できる。

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

①再編・ネットワーク化に伴う整備である40%地方交付税借置を利用すべき。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



平成 30年 10月 2日

領収書等貼付用紙

議員名 榊原 伸行

タイトル

半田病院の経営形態と役割について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

- ① 研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。
- ② 研修費 25,000円を7人で按分
- ③ 代表 鈴木好美 3,574円
- ④ 他6名 澤田勝・嶋崎昌弘・榊原伸行・中村宗雄・小栗佳仁・中川健一 3,571円

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月6日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年7月6日

半田市議会議員
代表 鈴木好美 他 6名 様

和 田 頼 知

